

学校再編だより

中和小学校

— 第 2 号 —

— 保護者と地域の協働による検討会議 —

令和5年8月発行

旭市教育委員会教育総務課 学校再編室

第1回中和小学校の再編に係る 地域検討会議を開催しました

7月4日（火）午後6時30分から干潟公民館1階ホールにおいて、中和小学校地域検討会議を開催しました。

はじめに、教育長から委嘱書の交付があり、保護者代表5名、地域住民代表4名、学校教育関係者2名、福祉関係者4名、青少年育成関係者3名、その他教育委員会推薦者4名の計22名を委員として任命しました。その後、会長・副会長が選出され、会長の進行により会議が進められました。

今回の会議では「会議の目的と運営方法」、「学校再編基本方針の概要」、「干潟地域の各小学校の現状と保護者アンケート結果」について、教育委員会から説明し、その後意見交換を行いました。

委員からは「早く統合してほしい」、「より広範囲の統合」、「もっと広域で小中一貫校」などの意見がありました。（[詳細は裏面に掲載](#)）



第1回地域検討会議の様子

会議で出た意見をもとに、今後も中和小学校の再編について検討していきます。

第2回会議開催 日時：令和5年8月28日（月）午後6時30分から
場所：干潟公民館1階ホール

※この会議は傍聴することができますが、会場内のスペースの関係により定員を10名とします。あらかじめご了承ください。

第1回中和小学校地域検討会議で出た主な意見

委員から出た意見を要約して掲載しています。

○小中一貫校にしたい。中学校は広域農道より北側、できれば干潟地域に建ててほしい。

○干潟地域に小学校が1校でも残るなら、統合には賛成。

○人数が減ってきているので統合はやむを得ない。ただ過疎地域ということが気になるので、子どもが遊べるような施設が欲しい。

○児童数の少なさに驚いている。早く統合して、多い人数で生き生きとしている姿が見たい。

○早く統合してほしい。児童数が多い地域と少ない地域の子どもは全然違う。子どものうちから小さい社会ができるような状態の場所があったらいい。

○世界的には少人数教育に向かっている中で、日本だけが大人数教育に舵を切っている。無理に統合しなくてもいいと思う。

○統廃合についてはもう待ったなしだと思うが、先々を見据えてもっと広範囲の統合のほうが無駄がなくていいのではないかな。

○大人数も良い部分と大変な部分がある。子どもたちが一番いい状況にしてあげられたらいい。市で人口が増えていくような取り組みはないのか。

○運動会が半日で終わってしまうなど、自分たちの頃は考えられなかったのが早く統合したほうがいい。

○自分たちの子どものことを考えると早く統合したほうがいいと思うが、さらに先の未来を考えると古城小の統合でどうなのかなとも思う。

○学童やスクールバスのことが心配だが、早く統合はしてもらいたい。

○早く統合してほしい。スクールバスは何台で、どこにとまるのが気になる。

○児童数の減少を見ると統合は必要だと思うが、中学校の部活動を考えたときに、もっと広範囲の統合でもいいのではないかな。

○複式学級にもメリットはあると思うが、統合して1学年1学級で生活できるような場を提供してあげたい。

○干潟地域の良さだったり、学校文化は新しい学校にも引き継いでもらいたい。

○小規模校は少ない人数で教育を受けられるチャンスとも捉えられるが、複式学級は避けなければならない。3校の統合は現状ベストな案だと思う。

○児童数の減少を見ると、早く統合を進めないと子どもたちの学びが狭くなってしまうと思う。

○複式学級を避けるためにも小学校の統合は早く進めてもらいたい、中学校も一緒に進めて小中一貫がいいと思う。

○なるべく早く統合を進めてもらいたい、過疎化が進む中で、もっと大きな範囲での統合でもいいのではないかな。

